

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【公表番号】特表2008-543256(P2008-543256A)

【公表日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2008-514020(P2008-514020)

【国際特許分類】

H 02 J 3/00 (2006.01)

【F I】

H 02 J 3/00 K

H 02 J 3/00 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年5月10日(2011.5.10)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配電網上の負荷のエネルギー消費を制御するための制御装置であって、  
発電と配電網上の負荷との間の関係に依存して変化する配電網の周波数の値を、或る時間  
期間にわたって検出するための手段、  
前記配電網の周波数の前記値の過去の読み取り値からの移動平均または重み付け移動平均  
に基づいた、配電網の周波数の履歴値を割り出すための手段、および  
前記負荷のエネルギー消費を、前記履歴値に対する前記配電網の現在の周波数に応じて、  
変化させるための手段  
を有している制御装置。

【請求項2】

配電網について検出される前記周波数の現在値がトリガ値に達したときに、前記負荷の工  
エネルギー消費を変化させるための手段、および

前記履歴値に依存して前記トリガ値を決定するための手段  
を有しており、

a) 前記トリガ値を決定するための手段が、配電網の周波数について割り出される上方値  
または下方値と前記履歴値との間のトリガ値を無作為にもたらすための手段を有しており  
、および／または、

b) 当該制御装置が、負荷の周波数であって、負荷によって蓄えられるエネルギーを表わ  
している周波数の値を検出するための手段を有していて、前記トリガ値の決定が、負荷に  
ついて検出される前記周波数にも依存している請求項1に記載の制御装置。

【請求項3】

配電網上の負荷のエネルギー消費を制御するための制御装置であって、  
発電と配電網上の負荷との間の関係に依存して変化する配電網の周波数の値を検出するた  
めの手段、

負荷の周波数であって、負荷によって蓄えられるエネルギーを表わしている周波数の値を  
検出するための手段、

前記負荷のエネルギー消費を、前記配電網の周波数の値がトリガ値に達したときに変化さ  
せるための手段、および、

負荷について検出される前記周波数に依存し、かつさらに任意の値にもとづいて、トリガ値を決定するための手段、  
を有している制御装置。

【請求項4】

前記変化させるための手段が、前記トリガ値を配電網について現時点で検出される周波数と比較するための手段を有している請求項2または3に記載の制御装置。

【請求項5】

負荷のエネルギー消費を変化させるための手段が、負荷について検出される周波数を中央限界の範囲内に維持すべく負荷のエネルギー消費を変化させるように構成され、さらに前記配電網の周波数の値がトリガ値に達したときにエネルギー消費を変化させるように構成されている請求項2または3に記載の制御装置。

【請求項6】

前記トリガ値を決定するための手段が、負荷について検出される周波数の最小値または最小値に対する負荷について検出される周波数の値に依存してトリガ値を決定するように構成されている請求項2または3に従属する請求項5に記載の制御装置。

【請求項7】

前記トリガ値を決定するための手段が、前記負荷の周波数とともに変化するトリガ値プロファイルを定めるための手段を有しており、

前記プロファイルが、負荷のエネルギー消費の変化がより最近であるほど、トリガ値が前記履歴値からかけ離れるようなプロファイルである請求項2または3に従属する請求項5に記載の制御装置。

【請求項8】

前記トリガ値を決定するための手段が、前記負荷の周波数とともに変化するトリガ値プロファイルを定めるための手段を有しており、

前記プロファイルが、ランダム値によって左右される請求項2または3に記載の制御装置。

【請求項9】

前記変化させるための手段が、エネルギー消費を負荷によって蓄えられるエネルギーを増加させる第1の状態と負荷によって蓄えられるエネルギーを減少させる第2の状態との間で切り替えることによって、前記エネルギー消費を変化させるように構成されている請求項1~8のいずれか一項に記載の制御装置。

【請求項10】

配電網上の負荷のエネルギー消費を制御する方法であって、

発電と配電網上の負荷との間の関係に依存して変化する配電網の周波数の値を、或る時間期間にわたって検出すること、

前記配電網の周波数の値の過去の読み取り値からの移動平均または重み付け移動平均に基づいた、配電網の周波数の履歴値を割り出すこと、および

前記負荷のエネルギー消費を、前記履歴値に対する配電網の現在の周波数に応じて、変化させること、

を含んでいる方法。

【請求項11】

配電網について検出される前記周波数の現在値がトリガ値に達したときに、前記負荷のエネルギー消費を変化させること、および

前記中央値に依存して前記トリガ値を決定すること、  
を含んでいる請求項10に記載の方法。

【請求項12】

前記トリガ値の決定が、配電網の周波数について割り出される上方値または下方値と前記中央値との間のトリガ値を無作為にもたらすための関数を含んでいる請求項11に記載の方法。

【請求項13】

負荷の周波数であって、負荷によって蓄えられるエネルギーを表わしている周波数の値を

検出することを含んでおり、

前記トリガ値の決定が、負荷について検出される前記周波数にも依存している請求項1\_1または1\_2に記載の方法。

【請求項 1\_4】

配電網上の負荷のエネルギー消費を制御する方法であって、

発電と配電網上の負荷との間の関係に依存して変化する配電網の周波数の値を検出すること、

負荷の周波数であって、負荷によって蓄えられるエネルギーを表わしている周波数の値を検出すること、

前記負荷のエネルギー消費を、前記配電網の周波数の値がトリガ値に達したときに変化させること、および

負荷について検出される前記周波数に依存し、かつさらに任意の値にもとづいて、トリガ値を決定すること、

を含んでいる方法。

【請求項 1\_5】

前記変化させることが、前記トリガ値を配電網について現時点で検出される周波数と比較することを含んでいる請求項1\_1～1\_4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1\_6】

前記負荷のエネルギー消費を変化させることが、負荷について検出される周波数を制御限界の範囲内に維持すべく負荷のエネルギー消費を変化させることを含んでおり、さらに前記配電網の周波数の値がトリガ値に達したときにエネルギー消費を変化させることを含んでいる請求項1\_1～1\_5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1\_7】

前記トリガ値を決定することが、負荷について検出される周波数の最小値または最大値に対する負荷について検出される周波数の値に依存してトリガ値を決定することを含んでいる請求項1\_3または1\_4に従属する請求項1\_6に記載の方法。

【請求項 1\_8】

前記トリガ値を決定することが、前記負荷の周波数とともに変化するトリガ値プロファイルを定めることを含んでおり、

前記プロファイルが、負荷のエネルギー消費の変化がより最近であるほど、トリガ値が前記履歴値からかけ離れるようなプロファイルである請求項1\_3または1\_4に従属する請求項1\_6に記載の方法。

【請求項 1\_9】

前記変化させることが、エネルギー消費を負荷によって蓄えられるエネルギーを増加させる第1の状態と負荷によって蓄えられるエネルギーを減少させる第2の状態との間で切り替えることによって、前記エネルギー消費を変化させることを含んでいる請求項1\_0～1\_8のいずれか一項に記載の方法。